

～ 玖珠町役場のお仕事を紹介 ～

令和4年4月1日に、玖珠町役場に就職した志手さんにインタビューをしました。

志手さんは由布市出身ですが、お母さんが玖珠町の方とのご縁で玖珠町役場に就職しました。

● 今、どのような仕事をしていますか？ ●

社会教育課社会教育班で仕事をしています。主な担当は、学校との連携・協働による「地域協育力」向上事業です。具体的には小・中学校の授業で地域の方に支援していただく「学校支援活動」や、放課後に体験活動やレクリエーションを行う「小学生チャレンジ教室」などの調整です。

また、社会教育課全体の仕事として、日本童話祭り語りべ大会、成人式等のイベント行事や、文化財の保存整備など、仕事は幅広いです。



社会教育課は、玖珠町社会教育施設「くすまちメルサンホール」内にあります。入口で志手さんが、迎えてくれました。

● 採用されて1年が経ちました。仕事で一番印象に残っていることは何ですか？ ●

学校支援活動で、文化財の現地説明を中学生に行ったことです。くす星翔中学校のフィールドワークで鬼塚古墳の説明をするために、文化財担当者に指導していただき、中学生に古墳についてや歴史等を説明した際には、とても緊張したのと間違えた情報を伝えていないか心配だった事が、一番印象に残っています。

● 就職する前の玖珠町役場の印象を教えてください ●

「高齢者の方とのやり取りが多いのかな。」と思っていました。

また、職員は地元の方がほとんどだと思っていました（志手さんは、由布市の出身です）。

● 働いてみて、就職する前の印象は変わりましたか ●

仕事によっては高齢者の方から子ども達まで、いろいろな人と関わることがあるということが分かりました。特に私の担当は、小中学校に関わることが多いので、印象が大きく変わりました。

また、職員は地元が玖珠町ではない方もたくさん居て、安心しました。

● 玖珠町役場を受験する人にメッセージをお願いします ●

玖珠町のことが何もわからなくても、周りの上司や先輩方が優しく教えて下さり、一緒に協力してくれる良い職場です。また、小さい町だからこそ地域の方と関わる機会も多く、すぐに玖珠町のことも覚えることが出来ると思います。皆さんと働ける日を楽しみにしています。

◆ 志手さんのお仕事を取材 ◆

古後地区に自生（玖珠町が日本最南端）している『ミツガシワ』を毎月観察しています。今年は、食害からミツガシワを守るためにネットの張替えをします。



先輩のサポートを受けながら。



よく観察して、調査研究します。